

User Report

トラック

■ 鬼頭運輸倉庫株式会社

ALC-PRO II と鍵管理を連動させた全国初の独自システムにより飲酒運転防止の最先端を走る。

鬼頭運輸倉庫株式会社は、ALC-PRO II によるアルコール測定と警備会社のキーボックスを連動させ、強固な飲酒運転防止のシステムを考案した。全国でも初めてというこの鍵管理システムは、運送業界の運輸安全マネジメントの進化形として今後、注目を集めるのは必至である。

パソコン連動記録型測定器

ご利用機器

ALC-PRO II

鍵管理システム



選定ポイント 警備会社に連動システムを提案

中野氏：当社は名古屋に本拠を置き、運送、倉庫、流通加工の三部門を柱に事業を展開しています。運送は中部地区6県を配送エリアとしています。商社やメーカーの品物を複数組み合わせる積載効率を上げる共同配送システムを構築して多品種少量化の流れに応え、お客様から高い評価を頂いています。

物流品質にこだわる当社はCSR活動に力を入れており、運輸安全マネジメントの基本方針に事故根絶を掲げています。アルコールチェックにおいては、飲酒確認の記録保存の義務化に対応するため4年前に東海電子のALC-PRO IIを導入しました。そして、飲酒運転防止をさらに徹底させる妙案はないかと考え、キーボックスを販売している警備会社に相談したところ「ALC-PRO IIと連動させることは可能」という返事をもらい鍵管理システムの導入計画がスタートしました。運用を開始したのは今年（平成25年）8月からです。



<鍵管理システム>

より優れた管理を 飲酒や盗難の防止の抜本的対策に

佐藤氏：ID認証による鍵管理システムについて説明しますと、ドライバーは入社時に点呼を実施し、アルコールチェックを行います。次にドライバー管理システムがインストールされたパソコンに社員番号を入力します。アルコールの測定結果に問題がなければ認証許可となり、鍵管理機にID認証カードをかざして扉を開け、鍵を拔出します。パソコンには何時何分に誰がキーを持ち出したかデータが残る仕組みになっています。これまで車のキーは壁のボードに掛けていただけなので、アルコールが検知されたとしても鍵を持ち出すことが可能でした。もちろん実際にそうした行為はありませんでした。

取材後記 鬼頭運輸倉庫の安全運行への熱意があって生まれた鍵管理システム。この地域の業界では、すでに大きな注目を集めているという。普及が進めば、業界の輸送品質が一段と向上するのは間違いのない。

が、飲酒事故を招くような隙間はやはり埋めなくてはなりません。飲酒をすれば完全に仕事ができなくなるこのシステムを導入してからは、ドライバーたちは飲酒量を自ら調整し、自己管理に努めるようになりました。ドライバー以外の職員も飲酒に気を付けています。

中野氏：こうした社内の意識変化が、結局は会社と社員を守ることにつながるのです。また、鍵管理システムは飲酒運転防止だけでなく、トラックの盗難防止にも役立ちます。他社の事例ですが、鍵の悪用によって夜間にトラックが盗まれたことがありました。アルコールチェックをしなければ鍵を入手できない鍵管理システムなら安心です。



先駆ける責任 同業他社からも高い関心を集める

中野氏：当社が加盟している愛知県トラック協会では、アルコールチェッカー導入時に補助金が交付されます。先日、協会の会合に出席した時、鍵管理システムにも補助金を出してはどうかと話をしました。また、物流会社の方たちとの会合で鍵管理システムの説明をしたところ非常に高い関心を受けました。

当社は、ドライバーと話し合いをした上で、飲酒運転には厳しい罰則を設けています。運送事業者は「飲酒は犯罪である」という認識に立って万全の対策を施す必要があるのではないのでしょうか。

取材ご協力

鬼頭運輸倉庫株式会社
西春営業所

代表取締役社長 中野 康雄 様

取締役管理部長 佐藤 政宏 様

〒481-0036

愛知県北名古屋市山之腰天神東108番地

TEL 0568-22-5454

FAX 0568-22-1520

